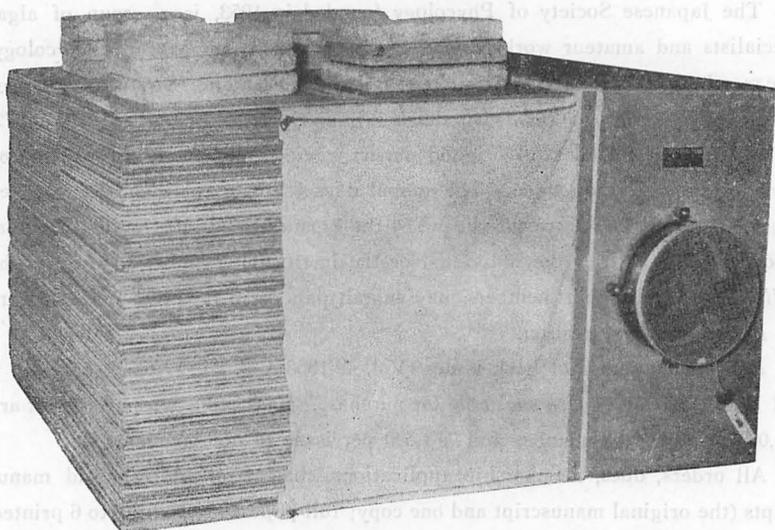


海藻標本乾燥器 (永田式植物標本製作器 301)

¥ 85,000 (送料共) 金属部サイズ 50×80×30 cm

生の海藻を吸取紙で半日脱水後、本器で乾燥すると100枚以上の標本が1～2日で出来上ります。



海藻標本乾燥器 (永田式植物標本製作器 301) を推薦します

千原光雄 (筑波大学生物科学系教授)

海藻の標本は美しい。綺麗である。誰もがそう思うに違いない。海藻の多くは自体のもつり分で標本台紙にびたりとはりつき、まるで絵にかいたようでもある。しかし、「標本を作るのが面倒でね」とか、「吸取紙のとりかえが厄介でね」と言う人が多い。事実、吸取紙のとりかえは思いのほか厄介な作業である。このたび発売された永田式植物標本製作器 301 (海藻標本乾燥器) は、有難いことに、このような厄介さを一挙に解消させてくれる。私はかつて国立科学博物館在職中に同僚が使っていた高等植物用の永田式植物標本製作器を見て、「海藻にもこのような製作器があればよいが」と思うことがたびたびであった。たまたま永田さんも同様な考えをもっておられ、昭和45年頃より製作器の試作の作業が繰り返され、私はもっぱらテスト役に、現在市販されている永田式海藻標本乾燥器が完成した。本乾燥器は第一に安全であり、取扱いも簡便である。しかも標本は実によく仕上がる。私どものところでは、この海藻標本乾燥器は実に重宝がられており、とくに多人数の海藻実習の際には大活躍である。

発売元 〒 410-21 静岡県田方郡菰山町四日町 227-1

永田克己 電話 <05594> 8-0628

振替口座 東京 7-181622

永田克己

取引銀行 駿河銀行伊豆長岡支店 普通預金 No. 556025 永田克己

学会に関する通信は、(〒112) 東京都文京区大塚3-29-1 東京教育大学理学部植物学教室内 日本藻類学会幹事宛とし、幹事の個人名は一切使用せぬよう注意して下さい。

Manuscripts and other correspondences should be addressed to **the Japanese Society of Phycology, c/o Department of Botany, Tokyo Kyoiku University, Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo, 112 Japan**

昭和51年度役員

会 長	西澤 一 俊	<i>President</i>	Kazutosi NISIZAWA
総務幹事	山岸 高 旺	<i>Secretary General</i>	Takaaki YAMAGISHI
会計幹事	原 慶 明	<i>Treasurer</i>	Yoshiaki HARA
庶務幹事	猪川 倫 好	<i>Secretary</i>	Tomoyoshi IKAWA

編 集 委 員 会

委 員 長	千原 光 雄		
委 員	秋山 優	新崎 盛 敏	広瀬 弘 幸
	今堀 宏 三	黒木 宗 尚	館脇 正 和
幹 事	有賀 祐 勝	横浜 康 継	渡辺 真 之

昭和51年12月20日印刷

昭和51年12月25日発行

編集兼発行者

千原 光 雄

〒112 東京都文京区大塚3-29-1
東京教育大学理学部植物学教室内

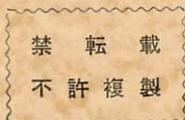
印刷所

学術図書印刷株式会社
東京都練馬区豊玉北2-13

発行所

日本藻類学会

〒112 東京都文京区大塚3-29-1
東京教育大学理学部植物学教室内
振替 東京 6-41999



THE BULLETIN
OF
JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY

VOL. 24, NO. 4

25 DECEMBER 1976

CONTENTS

Kazuyuki MIYAJI and Munenao KUROGI: On the development of zoospore of the alga <i>Chlorochytrium inclusum</i> from eastern Hokkaido	121
Toshio YOTSUI: Seasonal occurrence and sporangia formation of <i>Nemacystus decipiens</i> (Chordariales, Phaeophyta)	130
Masahiro NOTOYA: On the influence of various culture conditions on the early development of spore germination in three species of the crustose corallines (Rhodophyta) (Preliminary report).....	137
Tadao YOSHIDA: Nomenclatural notes on some Japanese marine algae	143
Terumitsu HORI, Shizuhumi TANIMOTO and Mitsuo CHIHARA: Geographic distribution of <i>Platymonas</i> and <i>Prasinocladus</i> on the coast of Japan (2)	146
Mamoru KUSUMOTO, Sachiro SONODA, Masami NATSUME and Hajime OZAWA: On the taxonomy and distribution of <i>Eudorina</i> (Chlorophyceae, Volvocaceae) in Kanagawa Prefecture.....	149
Book reviews	148
News	129, 165
Announcements	166
Information for overseas members	171

EDITORIAL BOARD

Mitsuo CHIHARA (Tsukuba) *Editor in Chief*

Masaru AKIYAMA (Shimane) Seibin ARASAKI (Tokyo)

Hiroyuki HIROSE (Kobe) Kozo IMAHORI (Osaka)

Munenao KUROGI (Sapporo) Masakazu TATEWAKI (Muroran)

Secretaries: Yusho ARUGA, Yasutsugu YOKOHAMA, Masayuki WATANABE

JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY